



おぐら
尾倉

校訓
自主
創造
協力



令和4年12月14日(水)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
- ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
- ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

検せず、私立高校へ進む人もいます。

- 2月中に進路先が内定します。
- それぞれの高校で推薦の基準があります。
- 合格は内定であり、決定ではありません。1ヶ月の中学校生活を残しており、学習面の努力も必要です。また、生活態度等が悪ければ、合格を取り消されることがあります。
- 入試は主に、作文、面接、実技です。

内はほとんどありません。定員割れがなければ、定時制でも二次募集はありません。

- 受検は1校のみです。
- 個性重視の特別試験(面接、実技等)が実施される高校があります。

③ 高等専門学校(高専)

<推薦入試>

- ① 志願理由書(本人・保護者)を担当に提出
- ② 校内推薦委員会で決定
- ③ 願書提出(高専の推薦は1校のみ)
*面接・作文練習などがあります。
- ④ 推薦入試(1月下旬)
→合格内定:必ずその高専に進学します。入学辞退はできません。
→不合格:高専・公立高校の一般入試を受検します。高専や公立高校を受検せず、私立高校へ進学する人もいます。
- 1月中に進路先が決定します。
- 推薦の基準があります。
- 合格は内定であり、決定ではありません。2ヶ月の中学校生活を残しており、学習面の努力も必要です。また、生活態度等が悪ければ、合格を取り消されることがあります。

<一般入試>

- ① 願書提出(私立高校推薦合格者は提出できません。)
- ② 入試(例年、2月の第3日曜日に実施されることが多いようです)
→合格:合格した場合、入学希望者の登校は公立高校の入試日と同日ですので、公立高校の受検はできません。
→不合格:公立高校の一般入試を受検します。公立高校を受検せず、私立高校へ進む人もいます。
- 公立高校推薦入試に合格が内定した場合は、受検手続きをしても受検できません。

④ 職業訓練校・専修学校・高等技術専門校

<入試>

- ① 進学の希望を担当に連絡してください
- ② 願書提出
*面接練習などがあります。
- ③ 入試
→合格:通常4月1日付での入学となります。事前に学校説明のため登校することもあります。
→不合格:他の職業訓練校・専修学校や高校を受験できます。
- 専修学校卒業後、専門学校でさらに上級の資格を取ることができます。
- 私立高校・公立高校も受験できます。
- 学校によっては高校卒業と同じ資格を得ることができます。(高校卒業ではありません)
- 北九州市立戸畑高等専修学校については、令和4年度以降募集はありません。

⑤ 就職

<手続きなど>

- ① 就職の希望を担当に連絡してください。
- ② ハローワーク<公共職業安定所(職安)>に連絡
- ③ 願書または履歴書などを提出
*面接練習などがあります。
- ④ 適性検査・面接など
→就職内定:4月1日付での入社となります。事前に会社説明のため出社します。
→不採用:次の就職先を探します。(補充募集をしている高校や職業訓練校、専門学校があれば受験して進学することができます)

*本内容は一般的な入試や手続きの内容です。3年生は受験先高校の募集要項に従いましょう。

入試の仕組みを知ろう!(高校・高等専門学校・各種学校)

もうすぐ2学期が終わります。3年生は進路決定の3学期が来ます。1・2年生は先の話のようですが、入試はあっという間にやってきます。中学校卒業後は、自分自身の手で、未来を切り開いていかなければいけません。ここでは、入試などの仕組みについて一般的な内容を掲載します(すべての手続きが下記のようなものとは限りません。高校によって異なりますので、その時期が来たら先生からしっかり聞いてください)。【この内容は、昨年度3年生のみに配付したものです。】

① 私立高校

<推薦入試>	<一般入試>
<ul style="list-style-type: none"> ① 志願理由書(本人・保護者)を担当に提出 ② 校内推薦委員会で決定 ③ 願書提出(私立高校の推薦は1校のみ) *面接・作文練習などがあります。 ④ 推薦入試(1月中～下旬) →合格:すぐに手続きが必要です。必ずその私立高校に進学します。 →不合格:再受験する場合、受験料は不要な学校もあります。私立・公立高校の一般入試を受検(受検)できます。 ○ 1月中に進路先が決定します。 ○ 高校毎に推薦の基準があります。 ○ 2ヶ月の中学校生活を残しており、学習面の努力も必要です。また、生活態度等が悪ければ、合格を取り消されることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 願書提出 ② 一般入試(北九州地区は3日間実施) →合格:合格した高校の中から、入学金の一部を払うことで、入学予約ができます。公立高校を受検できます。 →不合格:合格した高校に入学金の一部を払います。公立高校を受検できます。 ○ 特待生制度等があり、成績が良ければ授業料、入学金が免除されることがあります。 ○ 公立高校・国立高専入試へ向けて、自分の実力の判断となります。 ○ 公立高校の受検に関して、何も制約はありません。 ○ 例年北九州市内の私立高校は日期的に3校まで受験できます。 ○ 入学金、または入学予約金(一次手続き)が必要です。この金額については、各高校で異なります。その私立高校に進学しなくても、予約金は戻ってきません。

② 公立高校

<推薦入試>	<一般入試>
<ul style="list-style-type: none"> ① 志願理由書(本人・保護者)を担当に提出 ② 校内推薦委員会で決定 ③ 願書提出(公立高校の推薦は1校のみ) ④ 推薦入試(2月上旬) →合格内定:必ずその公立高校に進学します。入学辞退はできません。 →不合格:公立高校一般入試を受検できます。受 	<ul style="list-style-type: none"> ① 願書提出(私立高校推薦入試合格者、高専推薦入試合格者は提出できません。) ② 入試(3月中旬) *全日制・定時制とも同日入試 →合格:原則合格した公立高校に進学します。 →不合格:入学予約した私立高校に進学します。補充募集は、定員割れした高校が行いますが、市